

陣ヶ下溪谷とその周辺探訪

月 日 ; 6月15日(土)

コース ; 西谷駅改札口前(WC)→富士山神社→妙福寺→正観寺→川島町杉山神社→陣ヶ下溪谷公園
→水道道→金子稲荷タブの木→水道道→鶴ヶ峰駅 (約6km) 解散 12:30分頃

NO	見 所	由 来 ・ 史 跡
1	富士山神社	海拔50m。昭和36年(1961)の造営。以前は上星川の杉山神社と合祀されていたが、祭礼のたびに東川島町を通過しての参拝で不便な状態に置かれていたので分社した。階段は175段ある。西谷富士と呼ばれる富士塚がある。
2	妙福寺 日蓮宗	創建は慶長年間(1596~1615)。元は山上にあった。昭和47年(1972)本堂庫裏等を再興。平成5年山門を再興。山門脇の題目碑は享保10年(1725)の建立。
3	正観寺 曹洞宗	創建は寛永2年(1625)、開基は中田藤左衛門(寛永12年没)。天正18年(1590)矢上の城主中田加賀守が、小田原北条氏落城の時に討死。その子藤左衛門が父の供養のため、加賀守の守り本尊の正観音菩薩立像を奉納し菩提寺とした。本尊は12年に一度の子年の開帳で、旧小机領33観音霊場の第5番札所となっている。本堂脇の開運弁財天は、学問・技芸・開運の神として信仰を集めている。
4	川島町 杉山神社	創建年代は不詳。伝承によると天文年代(1532~55)北条氏康が上杉朝定との戦いでこの地に陣を張った夜、日本武尊東征の夢をみて、その加護により勝利は必定とここに祠を建て武運長久を祈り、勝利後社殿を寄進したと云われる。
5	陣ヶ下溪谷 公園	敷地面積15ha、「陣ヶ下溪谷公園」として2004年4月に開園。環状2号線と帷子川が交差する地点の南西側に、近代的な道路と寄り添うように自然の溪谷が息づいている、市内では唯一溪谷としての景観を保っている。陣ヶ下の地名は、源頼朝の家臣和田義盛が、狩のためこの近辺に陣を張ったことに由来しているとか。
6	金子稲荷社 タブの木	このタブの木は、昭和60年(1985)県の名木100選、天然記念物に指定。樹高20m、胸高周囲5.7m、推定樹齢約300年と言われる。
7	水道道	近代水道は、明治16年(1883)県がイギリス人パーマーに調査を依頼し、明治20年(1887)10月に初めての鉄管による水道が完成したことに始まる。この鉄管を埋設した土地の上に設けられた道路を水道道という。
参 考	西谷浄水場	西谷浄水場は、大正4年(1915)年に建設され、動志川及び相模湖を水源とし、当時の浄水能力は1日当たり73,360m ³ であった。その後、数回の改造が行われ、昭和55年(1980)の第8回拡張工事完成により、現在の浄水能力は1日当たり356,000m ³ (横浜スタジアム約1.1杯分)となっているおり、主に鶴見、神奈川、西、中、南、保土ヶ谷各区方面に給水されている。

*コースは、道幅・歩道が狭いで横に広がらないようご協力願います。

<次回案内> 旧東海道(総持寺・生麦事件現場等)を歩く(約4km)

日時: 9月21日(土) JR鶴見駅 西口改札前 9時~15分受付

会員募集中! *問合せ先* せや・ガイドの会・竹見 (☎: 090-3900-6469) まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」[検索]

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~seya-guide/index.html>